

事業番号	事業名称	指標 (2020年度 の目標水準)	2019年度実施 計画	2019年度目標 の評価	2019年度の実績	2020年度 実施計画	2020年度 上半期の 進捗状況	進捗状況の背景 (2020年4月1日～9月30日までに実施 したこと)	2020年度 該当事業予算額	今後の予定 (2020年10月1日～2021年3月31日まで に実施すること)	備考
1	新たな交流・回遊拠点の開設【重点事業】	開設された交流・回遊拠点の数 (2箇所(累計))	交流・回遊拠点の開設 2箇所(累計)	×	新たな交流回遊拠点の開設箇所や運営について、地域や活動団体などと意見交換を行いました。(農業振興課)	次の候補地の検討開始	×	交流回遊拠点の開設に向け、市内の里山の将来像を定めるとともに、地域が求めるニーズを確認するための市場調査に着手しました。(農業振興課)	調査等委託料 5,000千円	引き続き、市場調査を実施し、拠点施設の果たす役割や機能について検討を行います。 (農業振興課)	新たな交流・回遊拠点の開設については、2022年度を計画初年度とする「(仮称)町田市里山環境活用保全計画」の策定検討委員会において、意見交換を行い、事業としての検討を行う予定です。 (農業振興課)
2	里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築【重点事業】	新たな取り組みにより維持管理や活用が図られた山林等の面積 (5, 000㎡)	モデル地区での事業の実施	○	・山林バンクモデル事業協定を締結している田中谷戸街づくり協議会の協定範囲を拡大しました。山林の活用面積は19,018㎡から22,673㎡になりました。 ・山林バンク事業を進めるための航空写真、図面データを作成いたしました。 (農業振興課)	新たな取り組みの本格運用	△	・自転車を活用した事業をプロジェクト事業として位置づけ、地域住民や自転車愛好家と場所の選定などの協議を行いました。 ・民有地を含めた利用されていない山林の活用方策に関する調査に着手しました。 (農業振興課)	調査等委託料 5,000千円	・引き続き、地域住民や愛好家と管理運営手法など具体的な協議を行い、年内にプロジェクト事業を実施します。 ・引き続き、山林の活用に関する調査を行い、山林バンクの制度化を図ります。 (農業振興課)	
3	「(仮称)北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の構築【重点事業】	「(仮称)北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の立ち上げ (立ち上げ)	「(仮称)北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の立ち上げ	○	2017年度、2018年度にミーティングを開催しましたが、活動の立ち上げまでには至らなかったため、新しい手法として学生や若い世代の方をターゲットに絞り、「私たちの里山で私たちに出来ること」と題し、ワークショップを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。 (農業振興課)	「(仮称)北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の立ち上げ	○	北部丘陵地域で活動しているNPO法人に対して、個別にヒアリングを行い、事業実施の考え方や各法人が抱える課題、今後の事業展開などの確認を行いました。 (農業振興課)	事業・業務委託料 1,000千円	各法人の課題の解決に向けた検討を行うとともに、必要に応じて法人間において連携できるよう情報の共有を図ります。 (農業振興課)	
4	幹線道路等の計画・変更等【重点事業】	市道忠生579号線(Ⅰ期)及び市道忠生630号線(Ⅱ期)の整備完了 (2路線の整備完了)	用地取得、整備、整備完了	△	設計、測量 用地取得、整備 (道路整備課)		△	設計、用地取得、整備 (道路整備課)	忠生579号線(第Ⅰ期) 委託料 69,462千円 忠生630号線(第Ⅱ期) 需用費 80千円 委託料 13,136千円 工事請負費 161,841千円 公有財産購入費 66,373千円 補償・補填及び賠償金 131,820千円	設計、用地取得、整備 (道路整備課)	
5	北部丘陵での活動や魅力の効果的な情報発信【重点事業】	市主催イベントの申込率 (80%)	76%	△	2019年度の申込率は73%となっております。 (内訳) 【小野路町奈良ばい谷戸】 ・里山散策とタケノコ掘り(4月) 100% (定員15組 申込35組) ・親子で田植え体験(6月) 80% (定員20人 申込16人) ・親子で稲刈り体験(10月) 25% (定員20人 申込5人) ・親子でさつま芋掘り体験(11月) 100% (定員10組 申込10組) ・木こり応援隊(2月) 70% (定員20人 申込14人) ・鶴見川源流ウォーク(11月) 65% (定員20名 申込13名) ・植樹会(3月) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	80%	×	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは中止となりました。 (農業振興課)		広報まちだ、ホームページ、ツイッター、フェイスブック等、様々な媒体を使用し、情報発信を強化し申込率の向上を図ります。 ＜開催予定のイベント＞ 2021年2月開催予定、木こり応援隊 2021年2月開催予定、源流保水の森「保水の森づくり体験」 (農業振興課)	

事業番号	事業名称	指標 (2020年度 の目標水準)	2019年度実施 計画	2019年度目標 の評価	2019年度の実績	2020年度 実施計画	2020年度 上半期の 進捗状況	進捗状況の背景 (2020年4月1日～9月30日までに実施 したこと)	2020年度 該当事業予算額	今後の予定 (2020年10月1日～2021年3月31日まで に実施すること)	備考
6	農地の改善や農道の 整備	整備した農道 の総延長 (約3,500m) 整備した農地 の総面積 (約3.0ha)	農道:約3,500m 農地:約2.6ha	△	当初は農道150m、農地0.44haを整備 する予定でしたが、整備効果を上げる ために適地を選定し直し、農地0.33ha を整備しました。(農業振興課)	農道:約3,500m 農地:約3.0ha	△	整備予定箇所の現地確認を行いました。 (農業振興課)	整備工事費 2,000千円		2020年度に農地を0.2ha 整備することで、累計は農 道3,269m、農地1.97haと なる見込みです。そのた め、目標である農道約 3,500m、農地約3.0haには 届かない見込みです。 (農業振興課)
7	農業研修事業	農業研修事業 修了者数 (106人(累計))	96人(累計)	○	2019年度に9名が研修を修了し、研修 修了者の累計は94名となっています。 (農業振興課)	106人(累計)	○	現在19名が研修に参加しており、2020 年度は9名が修了する見込みです。 (農業振興課)	消耗品費85千円 光熱水費107千円 緊急修繕料80千円 研修農場管理運営委託料 4,200千円 バイオトイレ保点検委託料 252千円 バイオトイレ清掃委託料 913千円 剪定・除草委託料41千円	11月に2021年度就学希望者に対して 見学会を行うなど、農業研修事業の周 知を図っていきます。 引き続き、新たな担い手を育成するた め、引き続き、農業技術を身につける 研修を行うと同時に、2021年度就学希 望者に対して見学会を行うなど、農業 研修事業の周知を図っていきます。 (農業振興課)	
8	農地あっせん事業	あっせんを行った農地 の面積 (約15ha(累計))	約14.7ha(累計)	◎	19件の遊休農地のうち、5件を農地バン クに登録しました。既存の農地バンク登 録農地等と合わせ、11件の貸借を実施 し、2.0ha(累計20.8ha)の遊休農地が解 消できました。 (農業振興課・農業委員会事務局)	約15ha(累計)	△	市街化調整区域で遊休農地化の可能 性がある農地12箇所2haについて、農 地パトロールを6回に分けて実施しまし た。この結果、全ての農地が遊休農地 であることを確認し、指導・相談等に着 手しました。 (農業振興課・農業委員会事務局)		農地パトロールで確認した遊休農地の 所有者に肥培管理の指導を行い、農地 として改善を図ります。また、農地活用 の意向確認を行い、農地活用の意向が ない所有者に対して農地バンクへの登 録を促し、農地の適正利用を促進しま す。 (農業振興課・農業委員会事務局)	
9	農業体験事業	市民農園、体験農 園、収穫体験農園の 合計数 (7園(累計))	6園(累計)	◎	都市農地貸借円滑化法の施行を受け て生産緑地で農家開設型市民農園が3 園開園しました。(農業振興課)	7園(累計)	○	農業委員会だより等を通じて農家に開 設を働きかけます。(農業振興課)		引き続き農業委員会だより等を通じて 農家に開設を働きかけます。 (農業振興課)	
10	市民協働による里山 環境の再生・保全	市民協働による里山 環境の再生・保全を 実施した事業数 (5件(累計))	新たな場所での 取り組みの働き かけ	○	・10月20日開催、小山田の森委員会イ ベントでは、新規に募集チラシを作成 し、周知場所の拡大と、開催内容の充 実を図りました。募集開始から数時間 で定員数を満たし、当日は昨年度を上 回る81名(昨年度45名)が参加しまし た。終了後に実施したアンケートにおい ても、多くの方に満足していただけたと いう結果が得られました。 ・11月4日開催、ツツジの里さつま芋掘 り体験イベントでは、田中谷戸街づくり 協議会と協働で収穫体験や高校生が 企画した子ども向けイベントを開催しま した。 ・2月15日開催、木こり応援隊では、地 域の農業者と協働で森林保全イベント を実施しました。今後に向けて私有地 での実施可能性を調査・検討いたしま した。 ・3月4日開催、ワークショップ「私たち の里山で私たちに出来ること」では、学 生を中心とした若い世代の方を集めて いただき、北部丘陵の新たな場所での 活用方法について意見交換を行います。 (農業振興課)	新たな場所での 取り組みの実施 5件(累計)	○	小山田地域、小野路地域において、新 たな山林や農地の再生・保全に向けた 取り組みの実現に向けて、関係団体と 意見交換を行いました。(農業振興課)		2021年度当初から新たな取り組みが図 れるように、小山田地域、小野路地域 の関係団体との意見交換を深めていき ます。 (農業振興課)	新たな取り組み箇所 ①小山田小学校北の山林 ②小野路宿里山交流館周 辺の山林 ③見晴らし広場付近の山 林 ④東谷戸北側の山林と畑 (農業振興課)

事業番号	事業名称	指標 (2020年度 の目標水準)	2019年度実施 計画	2019年度目標 の評価	2019年度の実績	2020年度 実施計画	2020年度 上半期の 進捗状況	進捗状況の背景 (2020年4月1日～9月30日までに実施 したこと)	2020年度 該当事業予算額	今後の予定 (2020年10月1日～2021年3月31日まで に実施すること)	備考
11	生活道路の整備	都道155号線の事業 決定 (都道155号線の事 業決定)	地元の合意形成 に向けた支援、 整備及び管理計 画の策定	△	・地元の合意形成に向けて、10月6日に 田中谷戸街づくり協議会と現状と今後 の方向性について意見交換を行いました。 (農業振興課)	都道155号線の 事業決定	△	9月26日に田中谷戸街づくり協議会と 現状と今後の方向性について意見交換 を行いました。(農業振興課)	事業・業務委託料 500千 円	関係機関と協議を行い、整備及び管理 計画の策定を目指します。 (農業振興課)	
12	新規バスルートの整 備、増便	バス事業者が新たに 自主運行を行った路 線数 (1ルート)	検証運行 (小山田桜台、唐 木田間)	○	2019年8月1日にワゴン車から小型バス に切り替えて運行を実施 (交通事業推進課)	バス事業者によ る自主運行	○	小型バスによる運行実施 (交通事業推進課)	負担金補助及び交付金 35,862千円 (路線バス新規路線導入 実証実験運行事業補助 金)	小型バスによる運行実施 (交通事業推進課)	
13	市街化調整区域にお ける土地利用方策の 検討(地区計画制度 等の活用)	市街化調整区域内に おける地区計画活用 の考え方の決定 (考え方の決定)		○	2019年10月『町田市市街化調整区域に おける地区計画の運用指針』策定及び 公表 (都市政策課)		△	「市街化調整区域内における地区計画 活用の考え方」の活用を検討している 協議会に対し、アドバイザー派遣支援 を行いました。なお、コロナウィルス感 染拡大の影響により協議会の活動が 延期または中止となり、当初予定よりも 派遣回数は減少しています。 田中谷戸街づくり協議会への派遣:1回 小山田中部街づくり協議会への派遣:5 回 小山田大龍街づくり協議会への派遣:0 回 (地区街づくり課)	報償費 1,080千円	コロナウィルスの感染状況を考慮しな がら、協議会の開催等に合せて適宜街 づくりアドバイザーを派遣し、協議会の 街づくりに対して支援を行います。 (地区街づくり課)	
14	里山の景観を楽しむ 散策コースの整備	新たに整備された散 策コースの数 (1コース)	権利者等との調 整	×	里山散策コースの整備箇所の候補予 定地の現地調査を行いました。 (農業振興課)	新規散策コース の開設・公開	△	里山散策コースの整備箇所の候補予 定地の現地調査を行いました。 (農業振興課)		候補地を決定し、道路管理者や隣接地 権者等への調整を行います。 (農業振興課)	
15	花のある道づくり	整備された箇所数 (3箇所(累計))	新たな場所での 実施 2箇所(累計)	○	11月21日NPO鶴見川源流ネットワーク と協働で上小山田町の鶴見川源流保 水の森眺望点にヤブカンゾウの植栽を 行いました。(農業振興課)	新たな場所での 実施 3箇所(累計)	△	2019年度に上小山田町の鶴見川源流 保水の森眺望点にヤブカンゾウの植樹 を行いました。2020年度は、植樹を増 やすことができるように、植樹箇所の現 地確認を行いました。(農業振興課)		11月に鶴見川源流ネットワークと協働 でヤブカンゾウの植樹を行い、良好な 景観づくりを図っていきます。(農業振 興課)	